



西之表

# 市政の窓

第381号/平成6年12月1日発行 ■発行/鹿児島県西之表市役所 ■編集/総務課秘書広報係 ☎09972②-1111 F A X②-0295



でっか〜い!!

10月23日、榕城小2年4組(中馬史貴先生, 31人)が学級レクリエーションで「いもほり」をした。台風などの災害も少なく、今年は豊年満作、のうれしい便りが届く中、この日も、現和近政の橋元仁(まさし)さんのほ場では、子供たちの笑顔と同じくらいでっかい「からいも」が並んだ。

### 今月号の主な内容

平成6年  
1994.12

	頁	
●高齢者保健福祉計画策定……………②~⑦		●人命救助・南さんに感謝状……………⑩
●新種子島空港建設へ前進……………⑧		●干支の巨大イノシシ完成……………⑩
●池田公栄さん藍綬褒章を受章……………⑨		●米寿記念に高崎さん寄付……………⑪
●鉄砲館入館者50万人達成……………⑨		●フルートの巨匠迎え演奏会……………⑪
		●第23回市民文化祭……………⑫~⑬

# 福祉」をめざして

## 高齢者保健福祉計画を策定

市は、豊かな21世紀の福祉社会実現のため、ロマン(理想)に満ちた福祉環境づくりを目指す「高齢者保健福祉計画」を策定しました。計画書は、平成4年度に実施した「高齢者実態調査」の集計結果などを反映させたもので、目標年

度は平成11年度(西暦1999年)。保健、福祉、医療のつながりを重視し、①「ロマン島福祉」の実現、②顔の見える保健、③2万人の保健福祉運動、以上3本柱を政策目標にした本計画の内容をご紹介します。



目標は西暦1999年(平成11年)



高齢者実態調査を  
計画書に反映

本市は平成4年12月、高齢者保健福祉計画策定のための実態調査を実施しました。

調査は、65歳以上の市民全員(3352人)を対象とする本市ではかつてない大規模なもの。調査項目も、健康状態や生活環境、その他、保健・福祉サービスの利用状

況など子細にわたり、30項目以上にも及んでいます。

先述の「質問」も、その調査項目の一つ。高齢者の大半が「毎日の生活が楽しい、やや楽しい」9割——に対して、介護を必要とする高齢者が「あまり楽しくない、楽しくない」6割——と答えています。

長い老後を、生きがいをもって健康で、安心して過ごしたいと思いう気持ちはだれしも同じです。しかし、心身が健康そのもので人生を全うできるかという点必ずしもそうではないのが現実です。

だからこそ、この質問であきらかに違った対象的な結果は考えさせられるもので、その他の調査においても、重要な課題を投げかけています。今回の「高齢者保健福祉計画」では、これらの調査結果を分析し、2万人の市民が力を合わせて推進する市民運動「2万人の保健福祉運動」など提唱しながら、「高齢者にやさしいまちづくり」を目指しています。

平成11年が目標  
「ロマン島福祉」  
3つの柱で実現を目指す

ロマン(理想)に満ちた福祉環境

境づくりをテーマにしたこの計画は平成6年度を初年度に、平成11年度を目標年度とする6か年計画で、次の大きな3つの柱から構成されています。

1 「ロマン島福祉」の実現

● 高齢者の福祉環境の整備充実を進める。

2 「顔の見える保健」

● 生きがいに満ちた「第3の人生」を送るため、その大前提となる心身の健康を青壮年期からつくりあげる。

3 2万人の保健福祉運動

● 高齢者の保健福祉および生きがいの問題を、新しい西之表市建設のための課題としてとらえ、それぞれの年代ができることを考え、実践していく。

「ロマン島福祉」の実現

目標

多様化、高度化する高齢者のニーズ(要望)に対応するため、新しい施設の整備や在宅福祉サービスの導入を検討し、特に「西之表らしさ」に十分配慮しながら、ロマンに満ちた福祉環境の整備拡充につとめます。



具体的な方法

デイサービスセンターの建設

在宅福祉の3つの柱とされているデイサービスを提供するため、

デイサービスセンターを2か所建設予定しています。

デイサービスは、一人暮らしや要介護老人の孤独感をやわらげ、寝たきり防止や機能訓練を行うと



▲▶在宅ねたきりや、身体の弱い高齢者を対象にしたデイサービスセンターと在宅介護支援センターが今年3月オープンした

ともに、介護者の負担を軽減することを目的に運営されるものです。当センターの第1施設は、平成6年3月に特別養護老人ホームわかき園に併設されており、第2施設は東部地区に予定しています。

在宅介護支援センターの建設

在宅の要介護老人等の介護者の相談に応じ、要望に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるように、関係行政機関、サービス実施機関との連絡調整を行う在宅介護支援センターを建設します(平成6年3月設置済み)。

高齢者用住宅の建設

高齢者が快適に自立した生活が送れるよう、高齢者の心身機能の低下に配慮した住宅の建設を推進します。

道路や公共施設改良など

その他、痴呆老人専用施設の整備や、既存の福祉施設の増設、拡充、また、高齢者や障害者が利用しやすいように道路や公共施設を改良します。

ホームヘルプサービス拡充

要介護老人が自宅において健全で安らかな生活を営めるよう、日

常生活の援助や介護を行うホームヘルパー派遣事業を拡充します。また、民間やボランティア団体などの組織設立・サービス提供を積極的に推進・支援します。その他、夜間や休日などサービス提供時間の拡大をはかります。

デイサービス推進

生活指導、日常動作訓練、家族介護者教室、健康チェック、入浴サービス、給食サービスなどを行い、在宅の要介護老人の社会的孤立感をやわらげ、心身機能の維持向上をはかるとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減をはかります。

シヨートステイ実施

要介護老人を対象に、老人福祉施設で2週間の範囲内で過ごしていただき、その間、食事や入浴、教養娯楽などのサービスを提供。介護者の負担軽減をはかりながら、高齢者自身の気分転換や施設入所者との交流を促進します。

介護機器の給付

特殊寝台、エアーマット、腰掛便座、入浴補助用具など日常生活用具を給付して、在宅の寝たきり等の高齢者の日常生活の便宜をはかります。

## 介護手当の支給など

介護負担を軽減するため介護手当を支給するほか、介護者研修、紙おむつ支給、住宅改良費補助、福祉電話の設置、福祉機器のリサイクルなどを進めます。

## 顔の見える保健

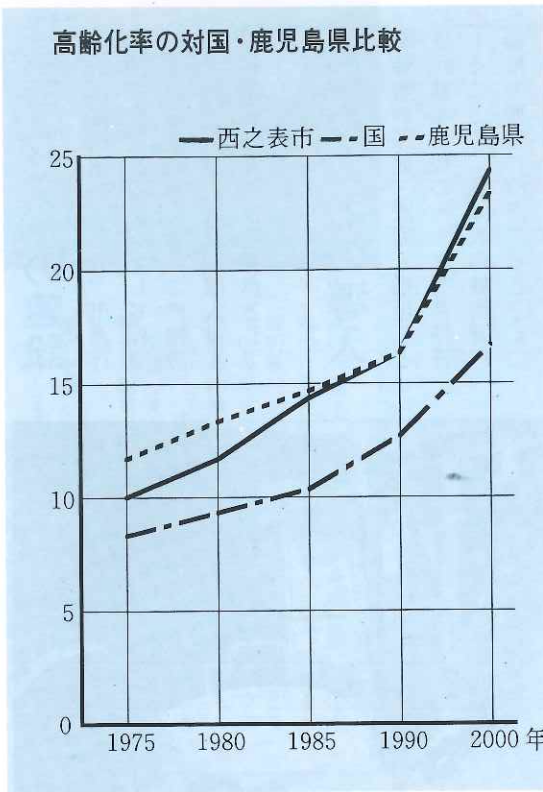
### 目標

老人保健事業を充実するほか、青壮年期の健康保持・増進のための教育や検診を積極的に行います。また、保健センターの施設を整備します。一方、個人および集団の

健康レベルを知り、より効果的な保健事業を進めるため、健康ニーズ調査、データーバンク事業を推進します。また、保健施策の展開のため、指針となる保健目標を設定。

### 具体的な方法

本市の平成4年における65歳以上の人口は、総人口20,286人のうち3,871人で19.1%を占めていますが、平成12年には4,664人になる見込みで、その比率は23.7%と予想されています。この推計結果と現在の要介護老人の出現率とを勘案して算出された数値を基に設定した保健目標は次のとおりです。



### 保健目標

ランク	区分	平成5年	平成12年	
		(現状)	(推計)	(目標)
E	痴呆老人	28人	37人	35人
	寝たきり者	234人	278人	265人
D	要リハビリ者	258人	308人	293人
C	要治療者	3,204人	3,828人	3,790人
B	要指導者	495人	590人	573人
A	健康人	435人	520人	572人

### 保健事業目標

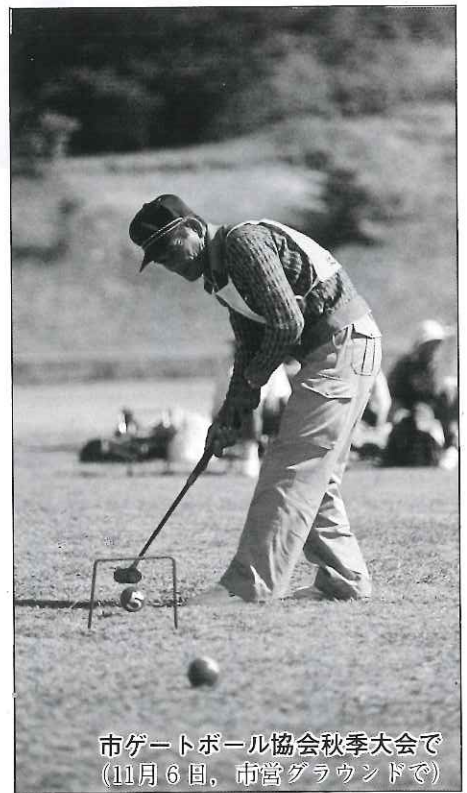
健康教育	63回	
健康相談	176回	
健康診査	基本健康診査	4,320人
	胃がん検診	2,700人
	子宮がん検診	1,800人
	肺がん検診	1,800人
	乳がん検診	1,200人
大腸がん検診	1,800人	
機能訓練	2,320回	
訪問指導	1,157回	
訪問看護	5,897回	

## 保健活動目標を設定

一次予防(予防思想の普及啓発)および二次予防(早期発見、早期治療)を促進するため、各種の保健事業の活動目標を次のとおり設定しました。

## 訪問看護の推進

主治医の指示を受けた看護婦等が訪問し、療養上の世話または必要な診療の補助を行い、寝たきり老人等の心身機能の維持向上をはかります。



市ゲートボール協会秋季大会で(11月6日、市営グラウンドで)

## 保健センターの建設

老人保健事業をはじめ、市が行う各種保健業務の拠点として保健センターを建設します。この施設は、保健・医療の情報や個人データの収集管理など情報拠点として位置づけられます。

## ICカードの導入

高齢者の保健・医療・福祉などの住民基本情報のデータを蓄積管理することで、個人々の健康管理や福祉の増進に役だてるとともに地域保健行政を効果的かつ円滑に進めるためにICカード導入に向けて研究を進めます。

## 給食の宅配

食生活の改善を通じて健康の保持をはかるとともに、高齢者の自立した生活の維持や、地域との交流、孤独感の解消などを目的として給食宅配を行います。栄養士が作成した献立で、1日1〜2回、配食員またはボランティア、業者などによって一人暮らしや買い物・調理に支障のある在宅の高齢者等に宅配します。



▲給食の宅配は年数回、市食生活改善推進員や民生委員の皆さん等によって実施されている。高齢者向けの献立として、地元の材料をやわらかく薄味に仕上げるなどの工夫をこらしている。

## 2万人の保健福祉運動

### 目標

すべての人々が健やかで幸福な老後を迎えられるような「高齢者にやさしいまちづくり」を実現します。

### 具体的な方法

## ともしびグループを強化

日常的に在宅高齢者を訪問することで孤独感をやわらげ、保健福祉要望を発掘し、行政各機関等との連絡調整をはかるため、高齢者と直接的、継続的に接する「ともしびグループ」の活動を強化します。

## 地域福祉システム推進

老人や心身に障害を持った方々が不安のない生活が送れるような温みのある地域をつくるため、県が進めている「地域福祉システム形成指針」に基づき、声かけ運動、見守りを中心とした「近隣福祉ネットワーク活動」をはじめとした市圏の体制づくりを推進します。

## ボランティアの育成

高齢者福祉を支援し、相互扶助精神を再興するため、地域のボランティアを育成し、ボランティア精神の醸成をはかります。

## イベント、広報の実施

寝たきりの原因となる成人病予防や健康増進の意識を啓発するとともに、高齢者や障害者の福祉に関する理解を深め、これらを実践していく機会の提供として「健康福祉フェスタ（仮称）」を開催します。また、市の広報紙等を活用して、本計画を市民に周知徹底します。

## 老人スポーツ大会開催

老人スポーツ大会を開催するほか、社会教育、社会体育の充実をはかります。また、地域の世代間

交流の場として、小中学校および  
保育所の活用を推進します。

## 組織活動の充実

老人クラブ、社会福祉協議会の  
充実をはかります。また、高齢者

の生きがい支援を市民の全体運動  
として組織的に展開していくため  
に国が実施している「長寿社会づ  
くり推進パイロット事業」の導入  
を検討します。



▲昭和30年に中種子町野間の洋裁学校を卒業したころから  
愛用しているミシンを踏んで普断着はほとんど手作りとい  
う阿世知エツさん（深川）。昭和61年には生け花の免  
状をもらい、ますます元気。

## 高齢者保健福祉計画

お問い合わせ先：市福祉事務所  
☎21111  
内線252

市長  
随想  
第54回

## 安住の地は？

市長  
榎本 修

10月21日出発、25日帰国の日程  
で市長会マレーシア視察研修の旅  
を終え、百聞は一見に如かずの意  
を強くした。

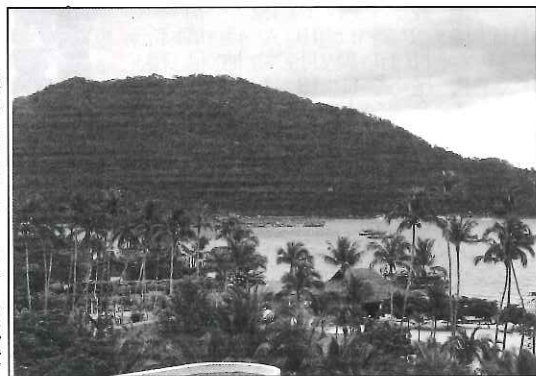
約5世紀の永い間、ポルトガル、  
オランダ、イギリスと欧州列強に  
支配され、苦難の歴史を経て、や  
つと先の大戦で独立。今や、自主  
独立国家振興の息吹が満ち、  
イギリス、フランス、ドイツ、日  
本、韓国等の先進国資本が入り乱

れ、ヤレ／＼ムードが充満。活力  
が国全体に漲り、その息吹がひし  
ひしと伝わってくる。丁度、我が  
国の高度成長期にそっくりだ。

シンガポールよりタイまでの高  
速道路の貫通による経済発展はめ  
ざましい。高速道路沿線の広大な  
ゴム園、油椰子園が工業団地、住  
宅団地へと変わりつつあり、その  
進展は目を見張るものがある。然  
し、我が国の後追の様な気がして、  
この有様が是か否か判断に苦しむ。  
台風のない、地震のない、災害の  
少ない自然の楽園マレーシア。す  
べての国民が本当に楽しく安らか  
に生活できる国として繁栄するこ  
とを心より祈る。

やはり、我が家が一番。めった  
に土産を買わない私も、妻に少し  
の感謝の意を込めて買い求め帰宅。  
只今！と声をかけ、家に入る。妻  
の姿はない。一抹の不安を感じる。  
食卓にカップラーメン、缶詰の山。  
一枚の手紙が添えてある「嫁入院  
のため青森に行く」。へた／＼と座  
り込む。然し意地を張り、努める  
こと五日間、カップラーメン、缶  
詰も終る。妻帰る。見栄も外聞も  
ない、山の神様々であった。

▲自然の楽園マレーシアの代表  
的なリゾート地、ペナン島の海  
岸





▼報道関係者が多数つめかける中、新空港用地、補償価格などに関する協定書調印が行われた(10月18日、熊毛支庁長室)



# 用地・補償価格などで県と地権者協が調印

## 新種子島空港建設へ前進

▲調印後、握手を交わす宮里熊毛支庁長(右)と村尾地権者協会長(左)



新種子島空港建設に伴う用地と補償価格について、県と新種子島空港地権者協議会(村尾収会長、48人)は、その協議が整ったとして10月18日、熊毛支庁長室で協定書に調印しました。

調印式には、宮里一郎熊毛支庁長、村尾会長をはじめとする地元地権者代表など出席。

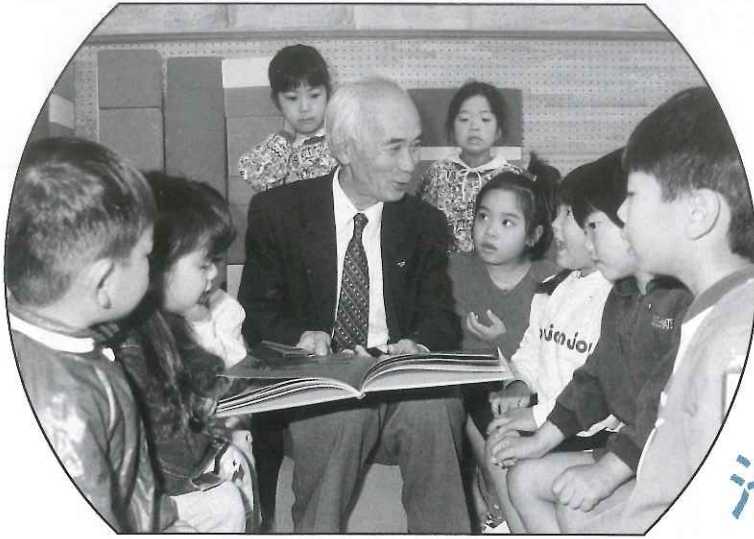
締結された協定書の内容は、昨年10月から約1年にわたって両者

が協議を重ねてきたもので、①土地売買単価は統一単価を採用する、②建物および立竹木等の損失補償は公共用地等の取得に伴う損失補償基準に基づいて行う、③地権者協議会は補償契約が円滑に進むよう協力する、④協定履行に疑義が生じた場合は、お互いに協議して解決する、の四項目。

今回の合意によって、県は今後、協定書で定めた統一単価で、協議会未加入者を含めた全地権者との個々の買収交渉に入ることになり、平成11年開港へ向かって新空港建設が前進したことになります。

新空港の建設予定地は、現空港から北東約8kmの中種子町砂中地区あたりで、広さは111ha。現在より500m長い2,000mの滑走路1本と空港ビルを建設し、総事業費は約180億円。予定されるジェット機の就航による高速大量輸送時代の到来で、県は開港から5、6年で現在の2倍以上の利用客約45万人を見込んでいます。新空港は島の産業、経済、観光の浮揚、発展に大いに効果を発揮するものと期待されており、島民皆んなが願う5年後の開港が待たれるところです。





## 幼児教育一筋

# 藍綬褒章

ただよし  
池田公栄さん(61)に

秋の褒章受章者が11月2日発表され、学校法人種子島シオン学園理事長の池田公栄さん(61歳・鴨女町)が藍綬褒章を受章しました。教育や産業振興に尽くした方に贈られる藍綬褒章は今回、全国421人に。県内では5人が受章。

池田さんは昭和33年、牧師として種子島に赴任し、基督幼稚園を開園。同44年からは明朗幼稚園長に就任し、現在に至っており、通算で36年間にわたり幼児教育一筋に献身的に活動されています。

そして、今年4月には、施設の老朽化に伴い、市内小牧に明朗幼稚園を新築移転し、新天地で理想の幼児教育の環境づくりに励んでおられます。

今回の受章は、永年教育事業に携わり、施設の充実をはかって子弟の育成に努力し、教育の振興に寄与されたことに対して贈られたものです。

現在、西之表基督教会牧師、学校法人種子島シオン学園理事長、明朗幼稚園長、保護司、大阪聖書学園卒。

▲集まった園児に童話を楽しく読み聞かせる池田さん

# 鉄砲館

入館者

# 50万人達成

幸運は  
横田式子さん(高知県)へ



「鉄砲館」の愛称で親しまれる種子島開発総合センター(鮫島安豊館長)が10月5日、入館者数50万人を達成しました。

昭和58年5月の開館以来、11年4か月にして迎えた50万人目は、高知県香美郡香北町の横田式子さん(60歳)。

農協が企画した3泊4日の団体ツアー(25人)で種子島に初来島。「ここが日本に初めて鉄砲が伝わったすごい島なんだな!!」と感激しながらジェットfoilで西之表港に入港したのがよかったのかも」

と幸運を射止めた感想。

横田さんには、鎌田一正教育長から50万人目入館証が手渡され、種子島を紹介する書籍や鉄砲伝来450周年記念盾など記念品も贈られました。

当センターは、種子島の文化と歴史を集積し、地域振興の拠点として充実する一方、伝来銃、国産第一号銃をはじめおよそ百丁の鉄砲を展示。入場無料の市民作品展、コーナーなどもあわせて、島民、観光客の人気を集めています。

# 黒煙の中、人命救助

## 南 正樹さんに感謝状贈る



火災の早期発見、迅速・的確な処置、人命救助の功績などに対して表彰が行われたものです。

8月23日、松島で発生した住宅火災で人命救助に当たった南正樹さん（23歳、伊関柳原）に熊毛地区消防組合管理者の榎本市長から10月24日、感謝状が贈られました。南星自動車工業(株)に勤務する南さんが午後4時ごろ、仕事で市街地に向う途中、火災を発見。「高齢の方が住んでいたが」という困りの声を聞き、119番通報を他の方にお願したあと、激しく吹き出す黒煙の中に入り、玄関口で逃げ遅れていた濱元武則さん（84歳）を救出、避難させたものです。「恐怖心はありませんでしたが、救出したあと、息苦しかったことを覚えていますが」と南さん。救出された濱元さんは、避難時にすでに右足を負傷し、自力での歩行は困難な状態で、また、他の目撃者の証言等から、救出直後に火災は最盛期に移行したもようので、

来年の干支を200キロの材料で手作り

# 巨大イノシシにビックリ

身近な郵便局めざして園芸教室も



大きなイノシシと除幕を手伝った明朗幼稚園児

市民に身近な郵便事業の展開を目指して、種子島郵便局（村尾隼一局長）は10月29日に園芸教室を、また11月1日には来年の干支の除幕式をしました。郵便貯金の普及・拡大活動の一環として行われた園芸教室には約40人の市民が参加。講師の河内俊男さん（中目）に土づくりや追肥の仕方を学んだあと、実際にサクラソウの苗の鉢植えに挑戦。12月から4月まで「花を楽しみたい」と有村悦子さん（東町）。教室ではサイネリアやパンジーの苗のプレゼントもあり、皆さんが気嫌の様子でした。

一方、年末恒例とな



人気を集めた園芸教室

った郵便局前の干支の除幕は明朗幼稚園の5、6歳児（年長組）25人がお手伝いして行われました。年賀状の発売日に合わせて除幕された来年の干支の亥（イノシシ）は局員の清水英次さん（40歳）の手作りによるもので、編竹500本をはじめ孟宗竹などふんだんに使って、重さも200kg。イノシシの荒々しさそのものに、体長3m50cm、高さも2m30cmというとてもない大きさ。そのスケールと迫力に園児らもビックリ。来年1月中旬まで展示され、年末年始の話題となることでしょう。さて、イノシシのように猪突猛進（向こう見ずに進むこと）では困りますが、新しい年も元気に過ごしたいですね。

米寿を記念して市へ

# 高崎キミさん 100万円 寄付

10月27日、高崎キミさん（88歳・西町）が市役所を訪れ、100万円を寄付されました。

高崎さんは明治39年9月15日生まれ。「こうして米寿を迎えられたのも市民の皆様のおかげです。困っている方がいらっしゃいましたらお使いいただきたい」と語る姿はお元氣そのもの。榎本市長は「大切に、福祉事業の推進に役立たせていただきます」と尊い気持ちに感謝しました。



市長室で米寿記念の寄付をする高崎キミさん(右)と同伴した長男の太郎吉さん(右から2番目)

超一流アーティストを迎え

## フルート 名曲の夕べ



◀◀超一流フルート奏者を迎えてのコンサート。市民合唱団コールわかさとの共演で島の唄も披露



フルート奏者の若き巨匠、イタリアのラファエーレ・トレヴィザーニさん（39）と夫人のバオラ・ジラルデイさん（ピアノ伴奏）を迎えて「フルート名曲の夕べ」が11月6日、市民会館ホールで行われました。

このコンサートは、東京、沖縄など日本公演9会場の一つとして本市で上演されたもので、招へい・主催したのは地元紙の南海タイムズ社（日高勝英主幹）。

世界超一流アーティストの演奏会は、第23回市民文化祭の一連の事業として最終日にプログラムされ、島内のクラシック愛好家など約300人がフルートの調べを十分に堪能しました。

演奏曲は、モーツァルトやシューベルトの作品など。アンコールに入ってから、市民合唱団コールわかさとの共演で「ようかい」「島山のつらつら椿は」など島の唄も披露し、拍手かっさいを浴びていました。

「最高の演奏に多くの方が触れてほしい」と主催者は、部活などで器楽演奏を学ぶ島内の中学生や高校生約100人を無料招待。皆さん思いがけないプレゼントに喜び、洗練された演奏を熱心に鑑賞していました。

特別企画・4日連続の舞台発表など

# 華やかに 文化の祭典



●熊毛テアトロによる市民劇場「鼠たち」

市文化協会の会員ら、文化愛好者が日頃の活動の成果を発表する市民文化祭（第23回）が11月3日から6日までにぎやかに開催されました。

舞台発表の音楽、舞踊、剣舞、詩吟、児童劇は市民会館ホールで行われ、連日、各席は超満員の人気ぶり。同じく市民会館会議室で行われた絵画や書道、写真、文学、華道の展示発表も力作の数々が入館者の目を引いていました。

また、種子島開発総合センターでの茶道と煎茶道実演には、親子連れや高校生らが訪れ、茶道の心と作法に触れ、静かに一服を楽しんでいました。

この他、今年も特別企画として



●茶道・煎茶道実演

イタリアのフルート奏者ラファエーレ・トレヴィザーニを迎えて11月6日「フルート名曲の夕べ」を開催。また19日にはテディ金城「ジャズライブ」も行われ人気を集めました。

そして23日、今回の市民文化祭の最後を飾ったのが劇団「熊毛テアトロ」で、アガサ・クリステイ作「鼠（ねずみ）たち」を公演。単調になりがちな場面で人間の優しき、醜さを巧みに表現し、舞台にめりはりをつけた演出が好評でした。

現在、市文化協会（榎原定男会長）には41団体が加盟し、会員数は約630人。

4日連続の舞台発表、そして約



●菊寿会作品展示

1か月にわたる各種公演は、県内ではあまり例を見ないほどの大規模なもの。この文化祭の成功で、今後ますます、文化活動への市民参加が進むものと思われれます。

なお、11月3日に行われた式典では、永く文化振興に尽くされた次の方々が表彰されました。

＜文化功労者表彰＞

○井元正流殿………多年にわたり熊毛文学会長として郷土の文化向上に尽力され、文学を通じて協会の発展に大きく寄与された。

○英流「聖桐会」殿………多年にわたり舞踊を通じ郷土の文化向上に尽力され、活発な舞台発表等で協会の発展に寄与された。



●会場をわかせた赤尾木生活学校



●かわいい舞台発表



●種子島写友会作品展示



●テアトロ团员による小劇場



●気迫のこもった剣舞



●連日超満員の客席



●子供らの輝く瞳で迎えられた  
人形劇団ゆびきり公演

みんなの広場



(左から)山口輝行くん(安納小6年)  
久保政和くん(同5年)  
日高洸輝くん(同4年)



(左から)小山田育代さん(現和小6年)  
日高さとみさん(現和小4年)



この人にSPOT  
No.57

ふるさと特産品コンクールで特賞

宇辰 忍さん (鴨女町, 62歳, 自営業)



種子島特産の飛魚を素材にした「トッピー卵みそ漬」(製造元:魚辰うおたつ)が平成6年度県ふるさと特産品コンクールで特賞に選ばれた。2年半の研究・開発の末、商品化に成功した宇辰さんの喜びもひとしお。

県産品愛用運動推進協議会が昭和58年から開催している本コンクールには今年、食品部門に63点、工芸品部門に54点が出品され「地域の資源を活用し、付加価値が高い商品」をポイントに厳しい審査が行われた。

トッピー卵みそ漬は、厳選した飛魚の卵を弱火で焼いて、みそ、みりん、酒などで味付けした風味豊かな製品。

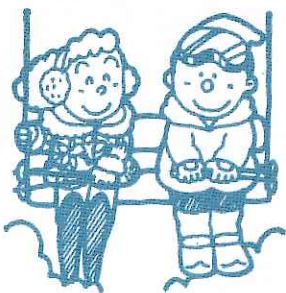
「海の幸を与えてくれる漁師さんとの共存共栄を大切にしながら、黒潮の恵みを多くの皆さんに味わっていただきたい。新しく開発中のものもありますのでお楽しみに」と語ってくれた。

うぶごえ・ごめいふくは  
9月中の受け付け分です



日高 祐太	江口 仁太	星原 礼奈	八木 ゆかり	平原 莉菜	榎元 菜緒	松本 莉央	磯邊 大輔	榎本 晃丈	小倉 結華	羽生 優也	石山 大樹	丸山 紗弥	宮田 康華	宮里 智美	下江 架斗	小倉 有里	春利 利緒	遠藤 隆生	出生児
実次	大和	貢野	昭美	隆治	幸文	誉松	昭洲	文裕	文教	淳池	輝雄	一徳	康伸	浩行	文明	裕充	利一郎	建次郎	保護者
宮	島	首	町	町	島	島	崎	自	自	野	寺	町	里	町	島	首	首	保	住所

うぶごえ  
おめでとう



稲子 實親	馬越 スエ	上妻 ハルエ	春村 守也	持田 喜代次	大木 ハナ	下園 和夫	橋口 チヨ	鎌田 ナミ	池田 感	中野 将吾	氏名
60歳	91歳	77歳	93歳	81歳	88歳	63歳	91歳	80歳	85歳	18歳	年齢
美浜町	壺泊	住吉中之町	川迎	沖ヶ浜田	浜之町	池之久保	鞆勇	鞆	現和之下町	榕城中目	住所

ごめいふくを  
お祈りします

# リレー ふるさとを想う 52



カナダのバンクーバー大学  
職員宿舎前にて(87)

## ちかお 土屋 知夏朗さん (69歳)

(旧名：正和，僧名：智顛)

(現住所：〒880 宮崎市大塚台東1-28-16  
電話：0985-47-1693)

出身地：西之表 中目

経歴：元 宮崎県立高等学校教諭(国語)  
在職中、次の仕事に携っていました。(すべて「智顛」名で執筆)

1. 高校(全国)の国語教科書の指導書資料作成
2. 大学受験「進研模試」の問題作成
3. 大学受験の国語「学燈」(月刊誌)の現代文レギュラー執筆者
4. 次の大学受験の参考書・問題集を共著  
○現代文に強くなる本 ○現代評論に強くなる本  
○文学史に強くなる本 ○大学受験「国語の総仕上げ」
5. カナダ、B・C州教育庁の職員採用試験に合格。  
カナダの3つの高校で日本文化について1年間、英語で授業(カナダには日本人学校はありません)

私が尋常小学五年生の頃、二・二六事件が起こり、翌年、爆弾三勇士の悲壮な事件とその歌を知りました。そして日中戦争が始まり国を挙げて戦争への士気が高揚される時、「流転」という歌が流行したのを覚えています。その当時は歌詞の意味など分かるはずはなく、そのメロディーを聞いて子供心に人の世のはかなさとむなしさを何となく感じていました。それから軍国主義は激化し、旧制種子中(現在の種子高)の四年生の時、太平洋戦争へ突入、「教練」という授業では敵を倒す猛訓練を受け、兵役に服しては幹候生として特に厳し

くしごかれ敗戦を迎えました。私たちの青少年時代は榕城校の校歌にある「仁の時堯、智の栖林、勇の久時、次々に残す文武の勲功の香りはゆかし」の句が示す、人間の生き方としては最も理想的な「仁、智、勇」の栄光ある歴史と優雅な伝統から薫陶を受けることなく、軍国主義・侵略戦争の残忍な敵愾心に毒されてしまったのです。

そういう時代の中でも、榕城校の生徒全員がワラ草履を履き、潮の香りを体一杯に受けてナガラメの殻で「ふのり取り」をしたり、授業であの道この道を歩き馬糞を

「もっこ」に拾い集めたりしたと。おとりのメジロの籠のそばに「やんもち」を塗った枝をさして、メジロが寄ってくるのを茂みの中で息を殺して待つ間のワクワクした気持ち、「やんもち」にかかったメジロを捕まえた時の天に昇るような興奮、また捕まえながら、うかつに逃がした時は茫然自失。ミナ取り、ツワ取り、ダクマ取り、椎の実拾い。山道を歩いてはグミ、木イチゴ、野ブドウ、イモーメンなどをまるで猿のように食べ、桑の実・桜んぼや竹の穂先についている黒い粉で、口は黒く染まりました。昔は経済的には恵まれなかったが、自然の恵みを受けて育ったのは何にも代え難い大切な少年時代だったと思います。

勤めの関係で永く帰島できずに過しましたが、父が本源寺住職を退いてからは五人の兄弟が一ト月交替で父母の世話をすることになりました。

男(正近)が勤めの関係で島では世話ができません。老母を背負い船に乗り鹿兒島の自宅へつれてゆく姿を思えば、私は退職して島で看護できるのだから頑張らねばと思いついていました。それも遠い昔になりました。

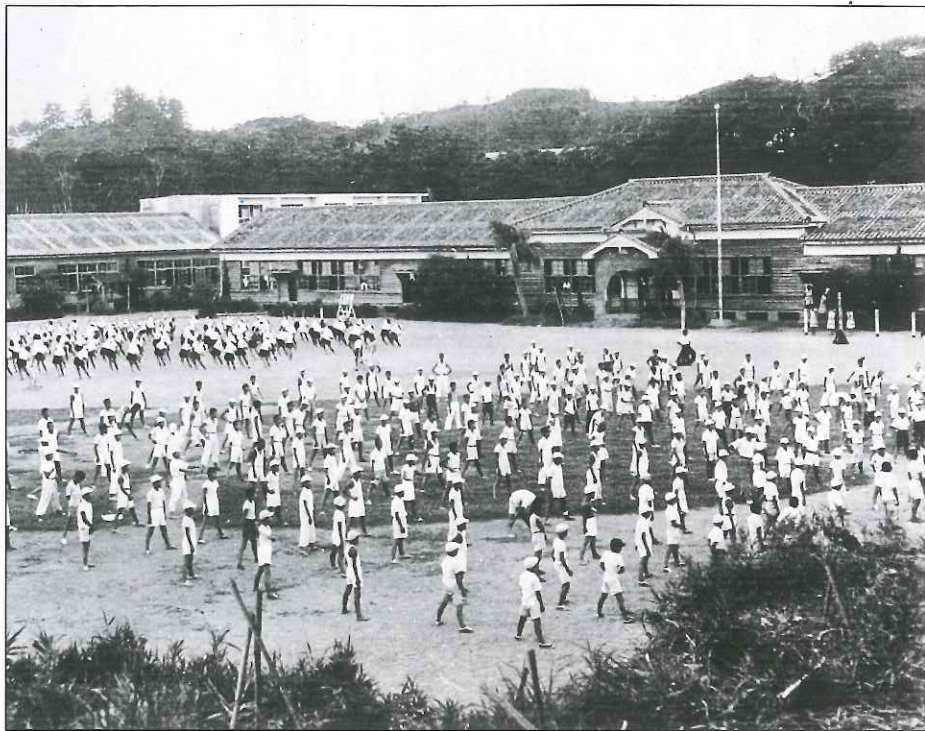
母が就寝してから海岸、街、ふもと、上の原、鴨女町などをよく散策していました。港湾、文化・体育施設、道路の整備など、帰島する度に目を見張る伸展があつて、感動しました。子供の頃には「人魂が飛ぶ所」とか「濡れ嫁じょうの出る道」などといって昼でも一人では歩けない恐ろしい場所が沢山あつたものでした。

欲を言えば、若い人々が働けるような職場が増えてほしいと思います。

先生方が種子島への転任が発令された時、それぞれがある意味でショックを受けて泣いて赴任するが、任期満了で離島の際は「島から離れたくない、いつまでも島に居たい」といつても島に多くの先生方が異口同音におっしゃいます。

温かい人情味にあふれ、自然は美しく、歴史と伝統は香りゆかしく、食べ物のおいしいふるさと種子島を最高の誇りに思っています。

「次回の「ふるさとを想う」は防衛庁の上田愛生さん(50歳・住吉出身)に登場いただく予定です。お楽しみに。」



▶昭和38年に1,328人の生徒をかかえ、県内有数のマンモス校だった榕城中学校（現在591人・写真は昭和36年頃）

その地域の風土、自然、歴史を謳い込み、多感な青少年の夢と希望をふくらませる校歌。平山先生の作詞による校歌は、ここに紹介する榕城中、古田小のほか、住吉中、上西小、立山小、そして中種子町の星原小など島内6校にも及んでいます。

## 榕城中学校校歌

作詞：平山武章

作曲：林 幸光

一、黒松の梢さやかに  
風わたる赤尾木の岡  
澄み通る鐘の響きも  
永久の希望うたいで  
光満つ榕城中学校  
我等は睦ぶここに楽しく

二、雲白き尾根ゆるやかに  
黒潮はゆたかにめぐる  
夢多き緑の最中  
島の窓つねに新たに  
曇りなし榕城中学校  
我等は学ぶ心明るく

三、南より文化は進む  
大いなる歴史をつぎて  
明日を指す輝く眸  
陽に映えて一途に清く  
意気もゆる榕城中学校  
我等は励む誇正しく

## 古田小学校校歌

作詞：平山武章

作曲：林 幸光

一、雲がゆく 鳥の高処の  
緑こい 山ふところに  
名もひびく賢母のおしえ  
朝夕べ かねに聞きつつ  
励むよ われら  
光を胸に

二、川脇の 清い流れの  
みなもとに 心よせあい  
伸びて行く 若木の力  
今日の日を 強く正しく  
競うよ われら  
希望の庭に

三、豊受の 森にこだまし  
霜こおる 野面にどよむ  
はずむ声 そろう足音  
明日を指し 助けあいつつ  
学ぶよ われら  
輝く窓に



# 種子島銃誕生のシナリオ(三)

郷土史家・故平山 武章さん

## 後記

鉄砲伝来で特記しなければならぬのは、一人一芸とか名工中心の産業形態の時代に、分業と多数の熟練工による生産方法を学んだ事である。鍛冶は筒をつくる、からくりは細工師、それに大工も必要であり、しかもそれぞれが互換性を持つ事も必要条件である。こうした新しい生産体制を理解し、体得したことは重大なことであった。たとえば天正18年(1590)豊臣秀吉は小田原攻めに際し、種子島の従軍を免ずる条件として、

誇りなのである。(おわり)



ねじね(「螺子、捻子、振子、螺、旋」) ①しめつけて物を固定するための部品。円筒または円錐の側面にらせん状の突起(ねじ山)をつけた雄ねじと、それにちょうど合うように円筒の内側に溝をつけた雌ねじとがある。スクリュー。screw ②時計などのぜんまいを巻く装置。spring ③緊張。しまり。strain 螺子が緩む(ゆるむ) ④気が持たがたるんでいる。be loose 螺子を巻く(ねじをまぐ) 強く注意して、緊張させる。get...moving

— 講談社「日本語大辞典」より —

※今は亡き平山武章先生のご協力をいただきながら4年半にわたり連載してまいりました「散歩道」は今回で終了させていただきます。(愛読ありがとうございます)(ごさいました(市政の窓))。



## 風と共に

ただよし 平山 匡利 (長男, 40歳・中目)

ある時期になって、子が親を離れ、親が子から身をひきます。そこより子は独り未知の海に出て、一人の人間を目指し始めます。それは土の船にも例えられるようなもろい船での解纜(かいかん)です。親は二人、時には一人になりながらも、経験という船のうえで、未だみえぬ大海の果てに想いを寄せます。その船は、長い航海にあつて汚れをつけてはそぎおとし、そぎおとしとしては我が身を傷つけた付着物に、無念の言葉のみこんだ日々がしみこんで、にぶく輝いています。

やがて子は海の広さを知り、厳しさと同時にやさしさを知ります。航海の術を学び船を直し、進む勇氣をえ、出会うものを愛することを知ります。いつしか若さというエンジンが全開し、スピードはあがつているのです。

ある日、子は、前方の波間にもがくように進む古びた船をみます。

そこに決してふりかえることをせぬ後姿の人をみます。力の弱いエンジン音はしかし、子をなつかしい遠い響きの連なりへと導きます。それは古いという潤滑油にくるまれて響いてきます。やがて子は理解します。同時に、老いた船をつつむ既にめされた者のおだやかな魂の存在にも気づきます。二つの船に自然な距離が生まれます。

風がはこぶ心の糧となるなつかしいニオイに励まされて子は進みます。ふとたまたみ我が身をみます。その時、子はそこに親をみます。ふりかえらせようとする衝動をたちきつて、子は意を決して前を見ます。親がそうしてきたように、今なお背中を語っているように、自分もまたふりかえらずに生きるのだと気づきます。

「一番悲しいことは、自分のために他人を呪(のの)うことだよ」後姿から発せられた最後の言葉です。

風と共にあれ、父よ。

# 市人事異動

市（熊毛地区消防組合を含む）は、11月2日付および11月8日付で職員的人事異動を次のとおり発令しました。△◎は昇格▽

11月2日付（退職）

職員名 旧所属

清水 末則 熊毛地区消防組合

消防長兼西之表消防署長

11月8日付

職員名 新所属（旧所属）

神村 和正 熊毛地区消防組合

消防長兼西之表消防署長

（教育委員会総務課長）

柳田 泰夫 教育委員会総務課

長（建設課長）

◎榎本義一郎 建設課長兼管理係

長（建設課長補佐兼管理係長）

## 第46回 人権週間

「世界人権宣言」は、昭和23年12月10日に国連で採択されましたが、これを記念して国連では12月10日を「人権デー」と定め、すべての加盟国に対し、人権思想の啓発のための行事を毎年実施するよう要請しています。

そこで、法務省と全国人権擁護

委員連合会では、12月4日から一週間を人権週間と定め、広く国民に呼びかけ、人権意識の普及高揚をはかっています。

人権週間を迎えるにあたって、もう一度、憲法に定める基本的人権尊重の精神を十分かみしめて、これを社会に反映してゆきたいものです。

本市では次の5名の方々が入権擁護委員として活動されています。

▲本市の人権擁護委員▽

荒木 政雄さん（中目③2553）

長野 昭さん（住吉中之町⑧8264）

木原 節郎さん（武部⑤0040）

江口スワ子さん（野平⑧1188）

榎本 和枝さん（中野②1417）

### 1月からA版大型化など

#### 戸籍に関する各種届書様式変更

法務省民事局は平成7年1月1日から、出生届および死亡届に関する出生証明書や死亡診断書など戸籍に関する各種届書の様式を変更する予定で現在、改正のための準備を進めています。

今回の変更では、記載方法の変更のほか、全部の届書の用紙を現行より一まわり大きなA版サイズへ移行するなどの大幅な変更となっております。

これらの変更に伴って、現行の出生届、婚姻届、離婚届および死亡届の用紙については、本市でも明年1月1日から使用できないこととなります。同日からは新しい様式で届出をしていただくこととなりますので十分ご注意ください。おわかりにならない点は窓口でおたずねください。

▼問い合わせ先…市民課住民係 ☎ ②1111内線221

## 中国残留邦人の身元引受について

いま鹿児島県では、中国に残留する邦人の身元引受人および残留邦人の自立を支援して下さる方を募っています。詳しい内容は次のとおりです。

▲身元引受人等の役割▽

○身元引受人…身元未判明孤児およびその世帯員の身元を引受け、孤児世帯の身近で日常生活上の相談に応じ、自立に必要な相談・助言を行ってくれる方。

○自立指導員…帰国者世帯に対し、生活習慣や日本語などの指導を行うほか、公的機関への手続介助等を行ってくれる方。

▲身元引受人等の資格▽  
帰国者等に関心と理解をもち、

熱意をもって指導できる方。

▲身元引受人等の申請と登録▽

身元引受人等希望者からの登録申請は、申請者の居住する市町村において受付け、身元引受人等としてふさわしい者かどうかを考慮して、市町村長の意見書を添えて県に提出します。県では内容を確認のうえ厚生省へ進達します。厚生省では、申請書等の内容を審査し、厚生省において身元引受人等登録者として登録されます。一方、自立指導員、自立支援通訳については、市町村長から提出された申請書等を県で内容審査し、県において自立指導員等登録者として登録されます。

▲身元引受人等の業務依頼▽

実際の引受けは、残留邦人が本県へ帰国することが概ね判った時点で、県において帰国希望者の事情を考慮し定着先の予定をたて、その地域の身元引受人等登録者に引受けを依頼することになります。

▲その他▽

身元引受けの期間・手当等、詳しい内容については、次までお問い合わせください。

▼問い合わせ先…市福祉事務所福祉係 ☎ ②1111内線250

人口の動き  
平成6年11月1日現在  
(住民基本台帳)  
(前年比)

総数……20,327人 (+19)  
男 …… 9,736人 (+6)  
女 ……10,591人 (+13)  
世帯数…… 7,893世帯(±0)  
市の面積……205.70km<sup>2</sup>

## おしらせ

区分	発生件数	死者	傷者
西之表市	64(-2)	1(+1)	81(+7)
中種子町	24(-10)	1(-1)	35(-7)
南種子町	11(-13)	0(±0)	13(-18)
計	99(-25)	2(±0)	129(-18)

交通事故発生状況  
平成6年11月15日現在  
(対前年同月比)  
※死者傷者とも発生  
場所での件数です

### 12月31日現在で 工業統計調査

今年も12月31日現在で工業統計調査が実施されます。  
この調査は、製造業を営む事業所を対象にその活動状況を明らかにすることを目的とし、工業統計調査員が訪問して行われます。  
その結果は、国や県の都市計画や景気対策などの基礎資料として幅広く活用されています。  
調査票の記入内容については統計以外の目的に使用されることはありませんので、調査票にご記入の上、指定された期日までに調査員に提出してください。

▼問い合わせ先…県庁統計課商工業統計係 ☎0992・26・8111内線2256あるいは市企画課統計調査係 ☎1111内線282

### 緊急経営支援資金 中小企業者に低利融資

県では、景気の減速により経営に著しい困難を生じている中小企業者のために、低利の中小企業緊急経営支援資金の融資を行います。

#### ▼融資対象者

県内で1年以上同一事業を営むもので、最近の経済的環境の変化等により、一時的に売上の減少等業況悪化をきたしているとして商工会等の認定を受けた者。

#### ▼融資限度額

4千万円(組合は5千万円)

#### ▼融資利率

年3・4% (10月1日現在)

#### ▼保証料

年0・75%

#### ▼融資期間

設備資金7年(据置1・5年) 運転資金5年(据置1年)

#### ▼取扱期限

平成6年12月31日まで

#### ▼問い合わせ先…県庁中小企業課

☎0992・26・8111内線2873または市商工会 ☎11141

### Sは標準・衛生・安全の印 理容業・美容業・クリーニング業

消費者の信頼のブランド「Sマーク」



Standard Sanitation Safety (標準) (衛生) (安全)

理容店、美容店、クリーニング店がかかげるこの信頼のブランド「Sマーク」は、消費者保護と選択の利便をはかる目的で制定された標準営業約款に基づいて営業している店舗(全国12万店舗)をあらわしています。  
「Sマーク」は、スタンダード

(標準)、サニテーション(衛生)、セーフティー(安全)の印。  
厚生大臣の認可を得て、サービスの提供、店舗の衛生管理、事故による損害賠償に関する営業上きわめて必要な事項を約束する標準営業約款登録店をご利用ください。



昨年の成人式で

## 平成7年 西之表市 成人式

S49.4.2生～  
S50.4.1生

20歳を迎え、社会の一員としての責任と自覚をもって自ら生きぬこうとする若者を祝福、激励します。

- ▶日時・会場：平成7年1月3日(火)市民会館大ホール  
(受付)午前9時半～9時50分  
(式典)午前10時～午前11時
- ▶参加対象者：昭和49年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた者で、西之表市に居住する者、または西之表市出身者です。
- ▶その他：生活簡素化運動にそって成人式を開催しますので、男女とも平服でご参加ください。
- ▶問い合わせ先：市教育委員会社会教育課 ☎1111内線297

# 市税は納期内に 必ず納めましょう

12月26日 固定資産税 (3期)  
1月25日 国民健康保険税 (4期)  
1月31日 市県民税 (4期)

## ポリテクカレッジ川内 学生募集

雇用促進事業団が運営する川内職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ川内)が平成7年度学生を次の内容で募集します。

- ▼募集定員…
- 機械システム系……………50人
- 電気・電子システム系…30人
- 情報システム系……………50人
- ▼応募資格…高等学校を卒業した者(平成7年3月卒業見込みの者を含む)または、これと同等以上の学力があると認められる者。
- ▼願書受付…平成7年1月9日(月)～1月20日(金)消印有効
- ▼試験日…平成7年2月7日(火)
- ▼合格発表日…平成7年2月28日(火)
- ▼試験地…川内市(本校)をはじめ九州管内9会場。
- ▼試験科目…数学(数学1、基礎解折)、外国語(英語1)
- ▼受験料等…受験料16000円  
入学金は不要、授業料228400円(現行年額)。
- ▼奨学金…有成資金制度あり(月額33200円～39800円)
- ▼学生寮…校内に個室120人収容(男子100人、女子20人)の

寮が完備。寮費月額約36000円(現行賄付)

▼問い合わせ・申し込み先…ポリテクカレッジ川内 〒895・02 鹿児島県川内市高城町2526  
☎0996・22・2121

## 自衛隊生徒募集

次の内容で自衛隊生徒募集が行われています。

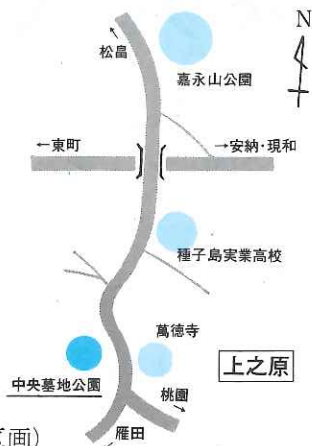
- ▼応募資格…中学校卒業(見込み含む)の方で平成7年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子
- ▼受付期間…平成6年11月1日～平成7年1月4日
- ▼試験日…平成7年1月6日(一次試験)
- ▼試験場所…鹿児島市内
- ※この制度は、給与・手当を支給されながら、一般の高校と全く同じ教育を受けられる制度です。(初任給) 148,200円 (ボーナス) 5・3か月分
- ※3年間の教育終了時には、左記の卒業資格が得られます。  
(陸上自衛隊) 神奈川県立湘南高等学校  
(海上自衛隊) 広島県立西高等学校  
(航空自衛隊) 私立科学技術学園高等学校

## 中央墓地公園2区画抽選会

この度、中央墓地公園において使用者から返還届があり、墓地用地2区画の空きができましたので、希望者を公募し、次のとおり抽選会を行います。

希望される皆さんは、ぜひ参加していただきますようお願いいたします。

- ▶募集区画：2区画(12㎡/区画)
- ▶抽選日時：平成6年12月19日(月)午前10時～
- ▶抽選会場：市民会館3階会議室
- ▶その他：当日は、印鑑と現金69,000円をご持参ください。
- ▶問い合わせ先：市財政課管財係 ☎②1111内線210



## 訂正とおわび

「市政の窓」11月号8頁の「ふるさと少年の主張」の記事に次の誤りがありました。おわびして訂正いたします。  
中野国治くん、中野寿美さん、中崎とも子さん、ほんとうにごめんなさいね。

▼問い合わせ先…市役所総務課 ☎②1111内線207または自衛隊種子島駐在員事務所(熊毛支庁内②1131)

## 追加

小学生の発表者12人の紹介の中で1人記載もれがありました。

○中野 国治 伊関小6年生

## 訂正

「小学校の部」優秀賞  
 (誤) 榎本 一也  
 中野 寿美  
 (正) 榎本 一也  
 中崎とも子

# 10月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 146.8トン		島内産 24.8トン(16.9%) 島外産 122.0トン(83.1%)		
取引額 3,312万円		島内産 617万円(18.6%) 島外産 2,695万円(81.4%)		
種類	入荷量トン	取引額千円	単価円/kg	
島内産野菜類	根菜類	4.6	1,037	224
	葉茎菜類	4.7	1,546	332
	果菜類	5.3	702	133
	その他	6.6	1,468	222
	小計	21.2	4,753	225
島内産果実類	温州みかん	1.2	158	134
	その他	—	11	172
	小計	1.2	169	136
島内産鳥卵・加工品等		2.4	632	
島内産花類		30.7千本	618	

◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用下さい。  
◎日曜、祝祭日と毎月第2水曜日、市場は休みです。

## 新着図書

市立図書館  
☎②1111 内線274

- おかあさんとおやくそく たらおかくにお
- おじいちゃんは兵隊だった 竹野 榮
- 焼肉かあちゃん 小山 勇
- SOS海ガメを救え 中村 庸夫
- ひげ先生と森の動物たち 竹野 榮
- 昭和と平成の皇太子妃 河原 敏明
- 読み聞かせでのびる子ども 平井信義他
- ノモンハン孤立兵の遺書 冨永 信
- 謎解き日本神話 松前 健
- 自分でつくろう健康茶 大海 淳
- 子育てごはんわたし流 奥菌壽子

## 鉄砲館だより

種子島開発総合センター  
☎③3215(サーミニイコ)

※総合センター内の市民作品展示コーナーは入場無料です。お気軽に入館・鑑賞ください。

### ※12月の展示

- 秋の山野草木展 11/26~12/5
- カルチャー教室生作品展 12/1~12/25
- 市民講座生作品展 12/1~12/25
- 種子島高等学校校生美術展 12/26~1/24

平成6・7年	休日在宅医	休日営業スタンド			
12月4日(日)	中目医院 野首③0350	市農協第3 松島③0128	中村石油店 現和⑤0021	江口石油店 国上⑧0808	
11日(日)	松崎医院 西町③2455	有馬石油店 西町②0121	瀬下石油店 住吉③3836	川添商店 現和⑤0810	水口石油店 国上⑧0007
18日(日)	井元医院 東町②0075	種子島石油 東町②1345	徳永石油店 安城③7379	一口石油店 安納⑤1111	
23日 天皇誕生日(金)	田上病院 松島②0960	三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田⑧0291	向江商店 安納⑤1147
25日(日)	池田医院 天神町②0260	全店営業			
1月1日 元旦(日)	中目医院 野首③0350	全店休業			
2日 振替休日(月)	松崎医院 西町③2455	全店休業			
3日(火)	井元医院 東町②0075	午前中全店営業			
8日(日)	田上病院 松島②0960	種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現和⑤0005		
15日 成人の日(日)	池田医院 天神町②0260	市農協第1 川迎②0543	中村石油店 現和⑤0021	江口石油店 国上⑧0808	
16日(月)	多愛病院 中目③2401	全店休業			
22日(日)	中目医院 野首③0350	有馬石油店 西町②0121	瀬下石油店 住吉③3836	川添商店 現和⑤0810	水口石油店 国上⑧0007
29日(日)	松崎医院 西町③2455	種子島石油 東町②1345	徳永石油店 安城③7379	一口石油店 安納⑤1111	

▶ [おたより]：毎月楽しみにして故郷を思い出しながら読ませていただいております。市政の窓は遠くにながら、種子島の匂いを運んで来てくれるよう……戸川清香さん(名古屋市名東区)



# Portugal 旅 ④7

ポルトガルへの

## 草の根交流 ポルトガル珍道中記⑦

今月のレポーター

吉村博幸さん ……大島支庁財務課  
(当時: 県国際交流協会勤務)



「カルロスのレストラン」での夕食会では、鼻の穴に香料を打ち飛ばすゲームも  
(ヴィラ・ド・ビスポ市・'94.3.23)

(前号までのあらすじ)  
日本ポルトガル友好450周年記念の草の根交流事業でポルトガルを訪れた名越恒樹、錨忠宏、中村勇、日高知範そして吉村の5人は、日程の4日目に入り、いよいよ目的地である姉妹都市、ヴィラ・ド・ビスポ市に乗り込んだ。青い海、輝く太陽、豊かな緑に恵まれたビスポ市で市長さん他たくさんの方の温かい歓迎を受け、おいしい昼食をいただき、市役所や海岸の観光地を見学をし、夕方には行財政課長のコヘイアさんのご自宅での軽い茶会でポアベンチュ

ーラ市長さんたちとなごやかに飲談の輪が広がっていった。

おやつですっかり満腹になりながら、我々はコヘイアさんのお宅を辞して、ホテルに到着。大西洋に突き出したサグレス岬の断崖の上に立つインファンテホテルは日の光にまっ白に輝き、眼下はるかに広がる息を飲むような美しい青い海、そしてどこまでも高い青空との見事なコントラストを描き、前庭のプールサイドの芝生ではヨーロッパからの観光客がゆつ

たりと時を過ごしている。やはりリゾート地のホテルはこうでなくちゃと思っていると、そばで中村勇君がぼつり、「きえつ、どんがとこん海い似ちえーな」。言われてみると、ホテルの部屋からの眺めは南種子町のロケット発射場あたりの風景によく似ている。あとで聞いたことだが、コヘイアさんたちが昨年種子島を訪問したとき、彼らも種子島の風景が故郷のものにそっくりなのに驚いたという。さすがは姉妹都市！

ホテルで少しくつろぐと、もう夕食に行くという。近くの「カルロスのレストラン」。いつものごとくワインとセルベージヤで乾杯。もうほとんどアル中状態。ご主人のカルロスさんは典型的ラテン系のノリのよい陽気なお兄ちゃん。冗談を飛ばしながら次々と料理を運んでくる。ここで我々は、あの有名なポルトガル料理「イワシの塩焼き(サルデーニャス・アサードス)」とようやくご対面した。今は季節はずれであまりとれないと言われていたので、「きつと我々のために苦労して特別に出してくれたのだろう」と一同感激しておいしくいただいた。(が、翌日断崖で魚釣りをしている市民の中に入っていたら、イワシは釣りの餌

になつていた。昨夜のあれは一体何だったのだろうか?) 夜更けまで多めに飲み、食い、語り、笑い、また、その昔麻薬吸引のために使ったのではないかとおぼしきあやしいおもちゃで、鼻の穴に香料を打ち飛ばすゲームなどに興じ、そうこうするうちに、今度は、これもカルロスさんが近くで経営しているリゾート用のウィークリーマンション見学に一同どっと繰り出した。広くて清潔で機能的な美しいマンションで賃料は一週間で約5千円。ため息をつく。1階はお土産ものの屋さん。年代別にずらりと並んだポルトワインを見て、やはりワインの国だなあと関心する。やっとな夜中近くになって、ホテルまで帰った。ロビーでビスポ市のローレンソさんたちにお礼を言って翌日の集合時間を打ち合わせて、みんなくたくたになつてベッドに倒れ込んでそのまま翌朝までぐっすり眠り込んだ。と思つていたのは、私あによりと中村事務官、そして通訳の武田さんだけ。名越、日高、錨、中村勇の4人は、市の青少年局長と、再び真夜中の暗い闇の中へと消えていったのである。何をしにいったのか。次号ご期待!